

英 語

年度	区分		番号	項 目	内 容
2025	一般A日程	全専攻共通	〔1〕	読 解	内容説明， 英文和訳， 内容真偽
			〔2〕	文法・語彙	空所補充
			〔3〕	会 話 文	空所補充
			〔4〕	文法・語彙	語句整序
		英語重視・ 英語専攻	〔1〕	リスニング	内容説明， 内容真偽
			〔2〕	読 解	空所補充， 内容説明， 英文和訳
			〔3〕	英 作 文	会話文英訳
			〔4〕	英 作 文	和文英訳
	一般B日程	〔1〕	読 解	語形変化， 内容説明， 英文和訳， 語の定義， 内容真偽	
		〔2〕	文法・語彙	空所補充	
		〔3〕	会 話 文	空所補充	
		〔4〕	文法・語彙	語句整序	
2024	一般A日程	全専攻共通	〔1〕	読 解	内容説明， 英文和訳， 内容真偽
			〔2〕	文法・語彙	空所補充
			〔3〕	会 話 文	空所補充
			〔4〕	文法・語彙	語句整序
		英語重視・ 英語専攻	〔1〕	リスニング	内容説明， 内容真偽
			〔2〕	読 解	空所補充， 同一用法， 内容説明， 英文和訳
			〔3〕	英 作 文	会話文英訳
			〔4〕	英 作 文	和文英訳
	一般B日程	〔1〕	読 解	英文和訳， 内容説明， 同意表現， 内容真偽	
		〔2〕	文法・語彙	空所補充	
		〔3〕	会 話 文	空所補充	
		〔4〕	文法・語彙	語句整序	



基本的な長文読解力、口語的表現力、文法・語彙と
オールラウンドな実力をみる良問

01 出題形式は？

一般選抜A日程（全専攻共通）・B日程とも試験時間は60分で、大問4題の出題となっている。A日程の英語専攻・特待生（英語重視）を受験する場合は、さらにリスニングを含む試験が課され、試験時間50分で大問4題の出題となっている。

A日程（全専攻共通）・B日程とも一部記述問題もあるが、例年、選択問題が中心である。A日程の英語専攻・特待生（英語重視）では、英文和訳や和文英訳などの記述問題が大きな比重を占めている。なお、設問文はすべて日本語である。

02 出題内容はどうか？

長文読解：内容真偽などの選択式問題のほか、英文和訳や内容説明などの記述問題が出題されている。

会話文：日常的な会話文を材料に選択肢の中から文脈に合う文を選ぶ形式である。

文法・語彙：空所補充が中心で、文法・語法の基本的知識を問うものが多い。ほかに語句整序も例年出題されている。

英作文：A日程の英語専攻・特待生（英語重視）で出題されている。一続きの和文を数問に分割した形式である。また、2024・2025年度と会話文の英訳も出題されている。

リスニング：A日程の英語専攻・特待生（英語重視）で出題されている。2部構成で、英語での会話を聞いて答える問題と、英文を聞いて答える問題が出題されている。

03 難易度は？

A日程（全専攻共通）・B日程ともに、出題される長文はおおむね標準

的なものといってよいが、内容真偽をはじめ、文法・語彙の選択問題には、まぎらわしい選択肢が含まれていることがあるので、注意が必要である。語句整序は、英文の構造をしっかりとつかんでいればそう難しい問題ではない。長文読解は20～30分、その他は1問あたり1分ほどで解答できるよう準備しておきたい。

A日程の英語専攻・特待生（英語重視）の問題は分量も多く、内容も骨のあるものになっている。

対 策

01 読解力

例年、内容真偽を問う問題が出題されている。パラグラフリーディングにより、効率よくかつ正確に内容を把握する方法を会得してほしい。比較的やさしい英文を数多く読みこんで、内容把握の練習をしておくとうい。また、毎年記述問題が出題されているので、『やっておきたい英語長文300』（河合出版）などに取り組み、実際に自分の手で書いてみるという練習を必ずしてほしい。

02 語彙力

読解力はもちろん、英語の力の基本になるのは語彙の知識である。どれだけ語彙力があるかで英語の力が決まってくるともいえよう。まずは、単語集の基礎～標準レベルを完璧に覚えよう。そしてさらに、教科書や問題集の英文の中で、生きた形で使われているものにできるだけたくさん触れよう。そうすることが本当の語彙力のアップにつながる。

03 文法・作文力

空所補充や、語句整序が頻出であるが、いずれも基本的な文法事項、熟語、構文が中心である。それらを学習しながら、『Bright Stage 英文法・

語法問題』（桐原書店）などの問題集で類似する形式の問題にあたってみるのがよいだろう。A日程の英語専攻・特待生（英語重視）は和文英訳が出題されているが、基本的には同じ勉強法でよい。『大学入試 英作文 ハイパートレーニング 和文英訳編』（桐原書店）などに取り組み、重要構文を例文ごと覚えるのもよい学習法といえる。

04 会話文

日常会話でよく使われる定型表現をしっかり身につけておくこと。空所補充では空所の前後の文に気をつけるとよい。特に疑問文が頻出なので、疑問文の種類とその答え方について、時制や助動詞に注意しながら学習しておいてほしい。

日本史

▶一般選抜 A 日程

年度	番号	内 容	形 式
2025	〔1〕	縄文～古墳時代の社会・文化	記述・選択
	〔2〕	平安・鎌倉時代の文化	記述・選択
	〔3〕	江戸幕府による法令 ◎史料	選択・記述・配列
	〔4〕	明治時代の政治・経済（40 字 2 問：使用語句指定） ◎年表・史料	配列・選択・記述・論述
2024	〔1〕	奈良時代の政治	記述・選択
	〔2〕	鎌倉幕府の滅亡と建武の新政	記述・選択・正誤
	〔3〕	江戸時代後期の社会経済（120 字：使用語句指定） ◎史料	記述・選択・論述
	〔4〕	選挙制度の変遷	選択・記述

傾向 史料問題が頻出！
分野別の学習に重点を

01 出題形式は？

2025 年度の出題範囲は「歴史総合，日本史探究」である。

大問 4 題の出題で，試験時間は 60 分。解答形式は選択式と記述式が中心であるが，使用語句および字数制限のある論述問題や正誤・配列問題も出題されている。

史料問題では，教科書や史料集に掲載されている史料以外に，新聞記事などが問題文に引用されたこともある。史料などを多用した会話形式での出題もある。

02 出題内容はどうか？

時代別では、古代から現代まで幅広く出題されている。原始・古代，中世，近世，近現代から1題ずつ出題されることが多いが，複数の時代にまたがる通史もみられる。

分野別では，政治史，外交史，社会経済史，文化史の4分野からバランスよく出題されている年度が多い。

03 難易度は？

全体としては教科書で太字になっている基本的事項を中心とした出題が多いが，なかにはかなり詳細な内容を問う問題もみられる。史料問題は類出史料からの出題が多いが，史料本文の空所補充問題では，細かな知識を問うものもしばしばみられるので，注意が必要である。試験では基本的な問題は手早く解答し，史料問題や論述問題に十分な時間をかけられるようにしよう。

対 策

01 教科書を中心とした基礎的学習

日本史学習の基本は教科書を徹底的に読むことである。太字の重要歴史用語・人名を基本に，前後の歴史的背景も確認するとともに，図表や脚注にも注意しながら，丹念に読んでチェックし，論述問題を意識しながら自分の言葉で説明できるようにしておこう。論述の練習として、『書いて深める日本史 論述問題集』『みるみる論述力がつく日本史』（ともに山川出版社）などを活用してみよう。実際に書いて練習しておくことが大切である。

02 史料問題対策

教科書に掲載されている基本史料については、どの時代のどのような事柄に関する史料か、出典名は何かなどといった内容を理解すること。学校で使用している史料集を活用するとよい。もしも使用していない場合には、『詳説日本史史料集』や『読み解く日本史 基本史料問題集』（ともに山川出版社）などの史料集や史料問題集を活用して、出題のポイントを押さえておくことも大切である。

03 歴史用語・人名の正確な表記

記述式の問題については、歴史用語を正確に書くことが大変重要である。また、歴史用語の読み方を問う問題も出題されている。『山川一問一答 日本史』（山川出版社）などの問題集を活用して、歴史用語を正確に読み書きできるように練習しておこう。

04 分野別の学習

例年、政治史、外交史、社会経済史、文化史など、分野がはっきりした出題が多い。2024年度は選挙制度の変遷についての出題がみられた。教科書や年表を活用して政治・外交・社会経済・文化史などの項目ごとに重要事項を自分でまとめておくことが望ましい。

世界史

▶一般選抜 A 日程

年度	番号	内 容	形 式
2025	〔1〕	中世西ヨーロッパの文化と社会	選 択
	〔2〕	明と周辺諸国 ☑地図	記述・選択
	〔3〕	石油危機後の東西陣営の歴史	選択・記述
	〔4〕	迫害と抵抗運動の歴史（100 字：使用語句指定）	記述・論述
2024	〔1〕	英仏植民地戦争 ☑地図	選択・記述
	〔2〕	古代～現代における朝鮮半島の歴史	選択・記述
	〔3〕	現代の中東問題	選択・記述
	〔4〕	北宋の政治経済（200 字：使用語句指定） ☑視覚資料・地図	選択・記述・ 論述

傾 向 2024 年度は 200 字論述問題が出題
地図問題にも注意

01 出題形式は？

2025 年度の出題範囲は「歴史総合，世界史探究」である。

例年，大問 4 題。解答個数は，2024 年度は 62 個，2025 年度は 47 個であった。試験時間は 60 分。解答形式は，選択式と記述式を中心に論述問題も出題されている。論述問題は，2024 年度は 200 字という中論述が出題され負担が大きくなったが，2025 年度は 100 字に落ち着いた。今後も増減の可能性はある。また，地図問題は 2024・2025 年度と出題されている。

02 出題内容はどうか？

地域別では、2024 年度は東西融合問題が 1 題、アジア地域が 2 題、アジア・アフリカ地域が 1 題、2025 年度は欧米地域が 1 題、アジア地域が 1 題のほか、欧米地域を中心に世界に目を向ける問題が 2 題であった。

欧米地域はヨーロッパやアメリカが中心で、アジア地域は中国や西アジア地域からの出題が目立つ。ヨーロッパ・西アジア・中国・東南アジア・インドなど、ユーラシア大陸規模の幅広い地域を扱う大問も出題されている。

時代別では、教科書の章や節に沿って比較的短期間の時代が大問として設定される傾向が強い。2025 年度は現代史のウェートが高まった。

分野別では、政治史・国際関係史が中心となっているが、年度によっては文化史や経済史からも出題されている。

03 難易度は？

大半は教科書レベルの標準的な問題である。ただし、記述式の出題が必ずあるので、人名・語句を正確に記述できるようにしたい。また、論述問題では、使用語句が指定されるので、論述の方向性はつかみやすいと思われる。試験時間のうちどれくらいの時間を論述問題にあてることができるか時間配分に工夫が求められる。2024 年度は 200 字論述と地図問題が出題されたことから、得点差が生じやすかったと思われる。

対 策

01 教科書中心の学習を

おおむね教科書の範囲から出題されているため、教科書を偏りなく熟読して基本的な歴史の流れを把握し、学習が手薄になりがちな時代・地域、分野をつくらないように心がけたい。また、重要事項に関して年代まで含めた正確な知識を身につけておくことが重要である。一方、自分の使用し

ている教科書に言及されていない歴史事項を確認・理解するために『世界史用語集』（山川出版社）などの用語集も必ず併用したい。地図問題対策として歴史的地名や都市の位置は必ず確認しておきたい。

02 正確な記述力の養成を

記述式が出題されているため、単に人名や語句を暗記するだけではなく実際に書けるようにしておく必要がある。特に、中国史における漢字は覚えにくいので、間違いやすい漢字を一覧表にまとめておくなどの工夫が必要である。

03 論述対策を

字数は、2024年度が200字、2025年度が100字と年度によって異なるので、小論述と中論述のどちらにも対応できるようにしたい。論述問題は、事項の説明、AとBの比較、CからDへの因果関係や経緯の説明など、いくつかのパターンがある。過去の傾向として指定語句が設定されることが多いので、重要語句を組み合わせる文章を書く練習に取り組み、論述力の養成に努めよう。

地 理

▶一般選抜 A 日程

年度	番号	内 容	形 式
2025	〔1〕	交通・観光 ☑グラフ・表・地図	選択・記述
	〔2〕	資源・エネルギー（使用語句指定） ☑統計表・グラフ	選択・記述・ 論述
	〔3〕	ラテンアメリカの地誌 ☑グラフ・地図	選択・記述
	〔4〕	北海道石狩川流域の地形図読図（30 字：使用語句指定） ☑地形図・統計表	選択・計算・ 論述・記述
2024	〔1〕	気候 ☑図・地図	選択・記述
	〔2〕	農業（70 字：使用語句指定） ☑統計表・統計地図	記述・選択・ 論述
	〔3〕	アフリカの地誌（30 字他） ☑地図・図・視覚資料・統計地図	選択・論述
	〔4〕	高知県須崎市付近の地形図 ☑地図・視覚資料・地形図・統計地図	選 択

傾

向

地図や資料提示による問題が多出
基本事項の理解力がバランスよく問われる

01

出題形式は？

2025 年度の出題範囲は「地理総合，地理探究」である。

例年，大問 4 題の構成であり，解答個数は 50～60 個程度である。解答形式は，記述式と選択式が中心だが，論述問題も例年出題されている。また，年度によっては計算問題も出題されている。試験時間は 60 分。

02

出題内容はどうか？

教科書準拠の基本事項が全分野からバランスよく出題されている。用語

や地名に関する知識を問う問題が大半であるが、国や地域の位置を問う問題もみられる。

03 難易度は？

教科書レベルの基本的な問題が大半である。一部にやや詳細な知識を要する設問も含まれるが、リード文を読むことで判別できる場合も多い。

対 策

01 基本事項の習得

まずは教科書をよく読むことである。太字で書かれている用語を中心にマーカーでチェックを入れて、文章全体を理解しながら用語を覚えるとよいだろう。次に、覚えた用語は『地理用語集』『山川一問一答 地理』（ともに山川出版社）などで再確認すること。なお、記述問題に備えて、用語は正確に書くことができるようにしておきたい。さらに、教科書に掲載されている写真も確認しておこう。

02 地図帳の活用は不可欠

地図をベースにした設問が比較的多いことから、学習の際に地図帳は不可欠である。個々に内容を暗記するのではなく、学習した内容を地図帳を使って整理する習慣を身につけよう。

03 計算問題の対策

年度によっては地形図の縮尺が問われることもある。問題集にあたって、練習を積んでおこう。

04 地形図の対策

日頃から地形図の問題や地図帳などで地図記号を確認し、読図に慣れておく必要がある。

05 統計に親しむ

統計学習で大切なことは、統計数値を暗記するのではなく、「なぜこれらの国々が上位にあるのか」ということを考えながら統計を読み取ることである。『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店）や『大学受験対策用 地理データファイル』（帝国書院）などは各種統計がコンパクトにまとめられていて便利である。

公共，政治・経済

▶一般選抜 A 日程

年度	番号	内 容	形 式
2025	〔1〕	民主政治と人権保障	記述・選択
	〔2〕	国際連合と国際協力	選択・記述・正誤
	〔3〕	日本の政治機構	記述・選択
	〔4〕	国際経済体制	記述・選択
	〔5〕	社会保障と労働問題（80 字 2 問：使用語句指定） ☑表 ☑グラフ	選択・記述・論述
2024	〔1〕	現代の国際政治	正誤・選択
	〔2〕	世界の政治制度	選択・配列
	〔3〕	人権保障	選択・記述
	〔4〕	国際貿易	記述・選択
	〔5〕	日本の財政（120 字：使用語句指定） ☑統計表	記述・選択・論述

（注） 2024 年度は「政治・経済」としての出題。

傾向 政治・経済分野とも選択・記述式中心
時事問題に注意

01 出題形式は？

2025 年度より「公共，政治・経済」としての出題となったが，「公共」の出題範囲は「政経関連部分」を基本とすることが公式にアナウンスされている。

大問 5 題の出題で，試験時間は 60 分。解答形式は，選択式・記述式が中心であるが，論述問題も出題されている。

02 出題内容はどうか？

例年、政治・経済の両分野からそれぞれ偏りなく出題されている。政治分野では人権問題や統治機構、民主政治の諸問題が頻出である。経済分野では需要と供給、貿易理論、戦後の経済体制・制度史、社会保障や労働問題が出題されている。また、基本的事項を問う中で、時事問題をあわせて出題している点に注意が必要である。

03 難易度は？

難問はほとんどなく、大半が基本的事項からの出題である。一部に時事問題や仕組みの理解を問うものも出題されているので、暗記だけでなく、しっかりと問題の背景や仕組みを理解しておかなければ対応は難しい。実際の試験では、論述問題に十分な時間をあてるためにも時間配分に注意が必要である。

対 策

01 基本的知識を身につける

基本的内容の出題が大半を占めることから、まずは教科書をしっかりと読んで内容を理解しよう。さらに、用語集（例えば『政治・経済用語集』（山川出版社）など）を活用して言葉の意味を確認し、必ず書いて学習すること。例年、政治分野、経済分野とも偏りなく出題されているので、苦手分野をつくらないように、理解するまで繰り返し学習しておこう。また、使用語句指定の論述が出題されることが多く、現代社会の課題についての基本的な理解が求められる。文章で説明する練習ができるとよい。

02 過去問研究を徹底しよう

過去問を繰り返し解くことで、頻出分野や時事問題の傾向が自然にわか

ってくるので、対策の重点もみえてくるだろう。政治分野では、特に国際政治や統治機構について、関係する憲法条文もあわせてマスターしておきたい。経済分野では、国内・国外を問わず経済体制や制度のあり方の変遷をしっかりと頭に入れておこう。具体的な年代や配列を問う設問もみられるため、主要な事柄は年代とセットで学習しておきたい。

03 時事問題に関心をもつ

教科書の基本的知識とあわせて、時事問題がよく出題されている。学校で使用している資料集のほか、新聞やニュースなどを日々読んだり見たりするなど、今、世の中で何が起こっているのかという意識をもっておくことが大切である。『ニュース検定公式テキスト&問題集』（毎日新聞出版）などを活用して、時事的トピックスを押さえるとよい。

数 学

▶一般選抜 A 日程

年度	番号	項 目	内 容
2025	〔1〕	小 問 3 問	(1)因数分解 (2)方程式 (3)平均値と中央値
	〔2〕	2 次 関 数	放物線の頂点, 放物線が x 軸から切り取る線分の長さ
	〔3〕	図形と計量	三角形の外接円・内接円の半径
	〔4〕	整数の性質	素因数分解, 最大公約数
	〔5〕	確 率	重複順列
2024	〔1〕	小 問 3 問	(1)式の展開 (2)不等式 (3)平均値と中央値
	〔2〕	2 次 関 数	放物線の頂点, 2 次関数の最小値
	〔3〕	図形と計量	円に内接する四角形
	〔4〕	整数の性質	素数・倍数・約数の個数
	〔5〕	場 合 の 数	部屋割り

傾

向

基本問題が中心

題意の読み取りと確実な計算力が決め手

01

出題形式は？

2025 年度の出題範囲は「数学 I, A (数学 A の出題範囲は「図形の性質」および「場合の数と確率」を基本とする)」である。

大問 5 題の出題で, 試験時間は 60 分。解答形式は, B4 サイズの解答用紙 1 枚に答えのみを記入する形式である。

02

出題内容はどうか？

すべての範囲について出題されている。数と式は式の展開や不等式が, 2 次関数は最大・最小, 頂点, 直線との共有点について, よく出題されて

いる。

03 難易度は？

教科書の例題や章末問題程度の基本的な問題が中心であるから，試験時間中に十分完答できる分量である。グラフを図示する力や問題文を読み取って正しく図形を描く力も必要である。また，分数で答えさせる問題が多く，計算力が問われている。

対 策

01 教科書の徹底学習

難問はほとんど出題されておらず，基本的な問題を確実に解くことが合格への一番の近道である。まずは教科書の例題を1題1題しっかりと解き，基本事項を完全に理解しておきたい。そのうえで，教科書の練習問題・章末問題を繰り返し解き，理解を確実なものにしておこう。

02 問題集の利用

学校で用いた問題集などでたくさん問題を反復練習しておくこと。2次関数のグラフと直線についての問題，図形と計量（三角比），場合の数と確率の問題がよく出題されているので，これらの問題は，問題集を利用して慣れておく必要がある。黄チャート『チャート式 解法と演習』シリーズ（数研出版）を利用するとよい。

03 計算力の充実

解答用紙に答えのみを記入する形式なので，確実に正確な計算力を養っておきたい。日頃から問題を最後まで自力で解ききること，無駄のない正確な計算の工夫をすることを心がけよう。

国 語

年度	区分	番号	種類	類別	内 容	出 典
2025	一般A日程	〔1〕	現代文	評 論	読み，書き取り，文法（口語），内容説明，空所補充，箇所指摘	「国語は好きですか」 外山滋比古
		〔2〕	現代文	小 説	書き取り，読み，語意，箇所指摘，表現効果，内容真偽	「紅すずめ」 小川未明
		〔3〕	現代文	評 論	書き取り，語意，空所補充，内容説明	「無意識の構造」 河合隼雄
		〔4〕	古 文	随 筆	箇所指摘，語意，口語訳	「枕草子」 清少納言
	一般B日程	〔1〕	現代文	評 論	書き取り，慣用句，空所補充，内容説明，内容真偽	「子どものうそ，大人の皮肉」 松井智子
		〔2〕	現代文	小 説	語意，内容説明，意見論述（70字），表現効果，文学史	「小さな世界」 星新一
		〔3〕	現代文	評 論	読み，指示内容，内容説明，箇所指摘	「女ことばってなんなのかしら？」平野卿子
		〔4〕	古 文	物 語	内容説明，語意，人物指摘，口語訳，古典常識，文学史 ㊟系図	「源氏物語」 紫式部

2024	一般A日程	〔1〕	現代文	評論	書き取り, 読み, 指示内容, 箇所指摘, 内容説明	『大漢和辞典』を作る 紀田順一郎
		〔2〕	現代文	講演	読み, 書き取り, 内容説明, 箇所指摘, 空所補充, 主旨	「私の個人主義」 夏目漱石
		〔3〕	現代文	評論	書き取り, 内容説明, 空所補充	「絵本の力学」 マリア＝ニコラ エヴァ, キャロル＝スコット
		〔4〕	古文	書簡	語意, 内容説明, 文法, 文学史, 口語訳, 空所補充	「縣居書簡補遺」 賀茂真淵
	一般B日程	〔1〕	現代文	評論	書き取り, 読み, 内容説明, 箇所指摘, 意見論述	「日本語の発音はどう変わってきたか」 釘貫亨
		〔2〕	現代文	評論	読み, 書き取り, 内容説明, 空所補充, 箇所指摘, 意見論述(50字)	「江戸絵画が楽しい理由」 金子信久
		〔3〕	現代文	対談	表現効果, 箇所指摘, 文学史	「言語学の教室」 西村義樹・野矢茂樹
		〔4〕	古文	軍物記語	内容説明, 読み	「平家物語」

(注) 〔1〕〔2〕は全員が解答, 〔3〕〔4〕はどちらか1題を選択して解答。



現代文は文章の丁寧な読みが求められる
古文は基本的な知識の確認が必要



出題形式は？

一般選抜A日程・B日程とも大問3題の出題。必須の現代文2題に加えて, 〔3〕, 〔4〕は現代文と古文のどちらか1題を選択する形式である。試験時間は60分。記述式・選択式の併用で, 解答用紙はB4サイズ1枚である。



出題内容はどうか？

現代文では, 評論を中心に出题されている。評論は言語に関する文章が頻出だが, それ以外の多様な分野からも出题されている。〔2〕は例年小説が出题されているが, 2024年度は講演や対談形式の文章が出题された。小説は, 近代の著名な作家の作品が出题されることもある。設問内容は,

書き取り・読みが頻出で、箇所指摘問題や空所補充問題も多い。文学史が出題されることもある。記述式の内容説明問題もみられる。2025年度は、A日程では擬音語・擬態語の効果を説明させる問題が、B日程では自分が小説の登場人物の立場だったらどうするかを根拠とともに述べさせる問題が出題された。

古文は、教科書に掲載されるような有名な作品から出題されることが多い。語意、内容説明、口語訳などが出題されており、文法事項はもとより、文学史など古典の知識が広く求められる。

03 難易度は？

現代文・古文ともに全体としては平易である。現代文は文章が短めで、内容の明快なものが多いが、意見論述問題など、時間を必要とする問題も出題されている。古文は、文章は教科書レベルの標準的なものだが、古典常識の知識がないと難しい設問もみられる。1題20分以内を目安に、解きやすそうな大問から解いていくとよいだろう。

対策

01 現代文

比較的平易な評論文や随筆、著名な作家の小説が中心なので、教科書の文章をしっかりと勉強すること。さらに新聞の社説、コラムや解説記事、寄稿記事などを日々読むこと。岩波新書などの新書を読んでもみるのもよい勉強になる。読む習慣とともに、『大学入試 全レベル問題集現代文〈3 私大標準レベル〉』（旺文社）などの標準的な問題集で設問への対応力をつけ、総合的な国語力を向上させていきたい。記述問題は、指示内容、具体例、言い換えなどに注意し、文章の構成や流れ、つながりを把握することで、設問の要求する箇所を的確につかめるようにしたい。また、本文中の表現を用いて要領よくまとめる練習も大切である。なお、漢字の書き取り・読みは必出なので、漢字の問題集による演習は欠かせない。読書も、漢字の

読み書きや語彙力の向上につながる。国語便覧などで文学史的な知識も十分につけておく必要がある。

02 古 文

基本的な文法知識（助動詞の文法的意味など）は必ずマスターし、そのうえで多くの古文に接し、文脈を読み取る力を養おう。基礎的な読解力を身につけるため、短い説話などで、話の流れを正確に追うことができるように訓練しておくといよい。また、和歌や俳句も出題されることがあるので、和歌や俳句の含まれた文章も読んで慣れておきたい。さらに、文学史はもとより、月の異名や俳句の季語、基本的な語の読み、当時の習俗など、古典常識の基礎的な知識も増やしておこう。問題集としては、『大学入試 全レベル問題集古文〈3 私大標準レベル〉』（旺文社）をすすめたい。